

感謝と誇りを胸に

校長 佐久間 郁子

令和5年11月17日(金)に、山田小学校創立140周年記念式典を行いました。第31代校長阿部 潤様をはじめ、20名ほどのご来賓をお迎えし、全校児童を合わせて総勢450名を超える参加者が学校創立140周年をお祝いしました。



この日に向けて、子どもたちはお祝いメッセージをつくり、映像とステージで発表しました。山田小学校のよいところ紹介や節目を祝う気持ちを歌と演奏、群読、劇、ダンス、クラッピングなど、各学年とも趣向を凝らして表現しました。6年生は、呼び掛けて山田小学校のよさの一つとして校舎に木のぬくもりがあること、笑顔と元気がいっぱいあることを挙げ、自分たちは下の学年のよい手本となるよう思いやりと助け合いの心を忘れずに頑張るという思いを言葉にして披露しました。途中で体を左右に揺らして歌う場面があったのですが、それを見ていた下学年の子どもたちも体を左右に動かしながら聴いている姿がありました。互いに向き合い、心通わす姿に感動しました。

来賓を代表して、PTA 会長 折笠 隆行様からご祝辞をいただきました。6年生を中心として上学年がリーダーとなって学校行事を盛り上げたり、学年を問わず互いに思いやりをもって縦割り班活動に取り組んだり、良き伝統が引き継がれているという嬉しいお話をいただきました。さらに、PTA からは、運動会で使用していたハチマキに代わるもの、さらに子どもたちの教育活動に役立つものとして、ビブスとテントを寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。

中国に「飲水思源」という故事成語があります。その意味は、「水を飲むものは、その源に思いを致せ」で、「井戸の水を飲む際には、井戸を掘った人の苦勞に感謝せよ」「基本を忘れてはいけない」という意味で使われています。山田小学校の卒業生は、これまでで5089名になります。子どもたちだけでなく私たち学校職員も、これまで歴史と伝統をつくり引き継いできた先人の思いを想像しながら、感謝の念と誇りをもって伝統を紡いでいきたいと心新たにしました。